

豊橋市議会傍聴記

地方政治
クリエイティブ

伊藤 秀昭

6人の新人議員を迎えて、豊橋市議会の一般質問が始まった。今回の統一選は全国的に最低の投票率。無投票当選の多さから「地方政治の空洞化」が指摘されている。議会が何をしているかわからない」との声も多い。

5年目に入る議会傍聴記。議会の「見える化」の一助になればと取り組むたい。

◎人材育成
伊藤篤哉氏(自民)は人口減少時代において求められる人材育成について問題提起した。

伊藤篤哉氏(自民)は人口減少時代において求められる人材育成について問題提起した。産業部長は「人口減少が地域経済縮小につながる」として、この地域の企業の魅力や技術力の高さを

井に立ち「人づくりを様々な分野に横串を指す重要な政策課題として位置づけ、日本だけでなく、世界に羽ばたき夢を現でできるような環境を作っていく」と、グローバルな議論が展開された。

域には暮らすがあり、コミュニティがあり、これらを損なうてはいけない」として、議論を展開した。

◎障がい児保育
中西光江氏(共産)は保育士としての経験から、障がい児保育の社会化について取り上げた。

この中には今年度、新しく設置された子ども未来部長が客弁に立ち「障がい児が健康の子と共同生活することに意義があり、増加傾向にある発達障がい児を一人でも多く受け入れることが保護者の就労支援にもつながる」と答えた。

少子高齢化対策に活発な議論

清水駅については豊橋鉄道と協議し整備検討を進めていると

斎藤氏は近くに老人福祉センターもあることから高師駅での取り組みや、特に障がい者や高齢者からの声を反映する仕組みを要請した。

少子高齢化に対応した持続可能なまちづくりについて、教育、福祉、都市構造から議論したのは杉浦正和氏(自民)。

地域の現場から言及してほしいテーマだった。

◎AED配置
小原昌子氏(自民)は「とよはし市民救急の駅」事業で31カ所所にあるAED(自動体外式除細動器)が設置されていることを取り上げた。

◎障がい児保育
中西光江氏(共産)は保育士としての経験から、障がい児保育の社会化について取り上げた。

子ども未来部長は「子ども未来部長は教育面、経済面の様々な施策でサポートしている」と答えた。



中西氏は現場の声を紹介しながら「困った子でなく困っている子」の視点からの障がい児保育を訴え、初質問を終えた。